

第1回くるめ環境表彰
環境行動賞 受賞者一覧

(個人・団体順、50音順、敬称略)

分野	受賞者名	具体的な活動内容
環境美化	河津 次男	資源ごみは持ち帰り、洗って資源ごみの収集日に出している 粗大ごみは、環衛連と連携して回収
	小森野小学校 父親の会	1回あたり親子約70人で地域のごみ拾いを実施
	久留米市立城南中学校 ボランティア部	学校敷地内及び学校前の通りの落ち葉掃除
	道守くるめネットワーク	明治通り、BS通りの除草ボランティア
ごみ減量・リサイクル	久留米市立篠山小学校	毎週水曜日に全校に放送で呼びかける。毎週金曜日の朝や、月1回の委員会活動でアルミ缶をつぶしたり、数のチェックを行ったりしている
地球温暖化対策	株式会社 丸信	消費電力の削減、社有車のハイブリッド化100%計画、再生可能エネルギーへの切り替え、Jクレジットの購入 独自の「CO2ゼロ印刷」マークの普及拡大を通じた環境意識の啓蒙
環境教育・学習	久留米市立北野小学校	環境学習、生ごみリサイクル体験
	社会福祉法人暁心会 三潯保育園	<p>【活動①】年中児の環境教育（環境活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くるめクリーンパートナーとして地域の美化活動（月に1回以上） ・お店屋さんごっこにアップサイクルの視点を取り入れたマルシェの開催（1回） <p>【活動②】年兆時の環境教育（環境活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をテーマとした環境活動と実践（年6回） <p>【活動③】活動の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりにて、各家庭に実施した成果などを共有

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】河津 次男

1. 概要

(1) 活動人数

部門	単独	複数で活動している場合の人数
個人	単独	-

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年2月	ほぼ毎日	下弓削川の下弓削地区両岸法面

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会への恩返し
活動の目的	散乱しているごみを回収すると美しくなる
具体的な活動内容	資源ごみは持ち帰り、洗って資源ごみの収集日に出している 粗大ごみは、環衛連と連携して回収

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

汚いままだと投げ込みが多くなるが、完璧にきれいにすると投げ込みにくくなる

(4) アピールしたいポイント

誰かが勇気を出してやらなければ世の中はきれいにならない 社会への恩返しとして取り組んでいる
--

(5) 他団体とのかかわり

くるめクリーンパートナーに登録 (No.756 令和2年3月23日登録)

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】小森野小学校父親の会 (代表者) 会長 小島 康弘

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
団体	50人	3~4人

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成28年	年に6回	筑後川河川敷、小森野校区の公園、小学校周辺

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	クリーンパートナー登録者から声をかけてもらった
活動の目的	親子で活動を楽しむ
具体的な活動内容	1回あたり親子約70人で地域のごみ拾いを実施

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

子どもころの体験が記憶に残り、地域の環境に愛着を持つ

(4) アピールしたいポイント

なし

(5) 他団体とのかかわり

くるめクリーンパートナーに登録 (No.727 令和元年5月13日登録)

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】久留米市立城南中学校 ボランティア部

1. 概要

(1) 活動人数

部門	学級		学年	活動人数
	年組	人数		
学校			部活生	54人

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成29年	年に50回	学校敷地内及び学校前の通り

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	花火大会後の清掃活動をきっかけに、学校周辺での活動を開始
活動の目的	社会に役立つことを積極的に行う
具体的な活動内容	学校敷地内及び学校前の通りの落ち葉掃除

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

活動を続けていくうちに部活生の声かけから参加希望者が増えたり、徐々に生徒同士で協力して短い時間内で効率的に活動を行ったりできるようになった。
--

(4) アピールしたいポイント

他の部活動と兼任している生徒で朝練が終わった後に活動に参加している生徒がいる。 朝早く登校し、多い時は地面が見えなくなるほどの落ち葉をその日の参加者で手分けして掃除している。
--

(5) 他団体とのかかわり

なし

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】道守くるめネットワーク

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	1,172人	100~200人

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成28年2月	年に4回	明治通り、BS通り等

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	
活動の目的	多くの人が訪れる久留米市の顔となる道路を美しくする。
具体的な活動内容	明治通り、BS通りの除草ボランティア

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

道守くるめネットワークを発足し、道路の美化活動をすすめるために一緒に活動する団体や企業を積極的に広げながら、活動範囲も明治通りからその他の道路まで広げている。また、他市の団体との交流も行い、活動の活性化に努めている。

(4) アピールしたいポイント

発足当初8団体であったが、令和4年4月時点20団体に拡大

(5) 他団体とのかかわり

明治通り等で市が進める花街道サポーター（植栽ボランティア）の活動と連携し、ボランティア以外にも道路管理者である国と協議を行いながら道路環境の向上を図っている。また、ボランティア活動においても市のイベント（水の祭典等）にあわせて活動を行うなど、行政と協力しながら効果的な活動を行っている。

道守くるめネットワーク 参加団体募集



「道」を舞台に、あるいはテーマに様々な活動をおこなっている人々を「道守」とし、その活動を「道守活動」と呼んでいます。
国土交通省の呼びかけにより「道守九州会議」が立ち上げられ、行政まかせではない住民と行政との「協働」の道守活動を推進しています。

道守くるめネットワーク 平成28年2月15日発足

■主な活動

いろいろな団体や行政との意見交換会を行ったり、参加団体のご協力で明治通り除草ボランティアを実施しています。

参加できる時にお気軽にご参加ください。

- ・道守くるめネットワーク意見交換会 年1回
- ・道守ふくおか会議（県南）意見交換会 年1回
- ・みちづくし参加（九州内の都市） 秋開催
- ・明治通り除草ボランティア 年3回程度
- ・BS通り除草ボランティア 年1回程度 など

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止又は規模を縮小しておこなわれました。

道守くるめネットワークでは、久留米市内で道路の清掃や花植えなどのボランティアに取り組む団体が集まり、日頃の活動に関する意見交換や情報交流をおこなっています。
ボランティアに取り組んでいる、又はこれから取り組みたい団体は、参加してみませんか。お申込みお待ちしております。

■参加費 不要（内容によっては、実費が必要な場合があります）

■申込み方法

参加申込書を下記までご提出ください。

■申込み・お問い合わせ先

久留米市 都市建設部 公園緑化推進課
TEL 0942-30-9087 FAX 0942-30-9707
〒830-8520 久留米市城南町15-3
久留米市庁舎11階

■参加団体 市内の企業、ボランティア団体

■活動内容

道守くるめネットワークは、年数回集まり、活動報告や他都市のボランティア団体との交流会に参加し、楽しく意見交換をしています。

ボランティア活動や意見交換会開催時には、随時参加団体へご案内します。意見交換会には、行政（久留米市等）も参加しています。



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】ごみ減量・リサイクル

【受賞者名】久留米市立 篠山小学校 (代表者) 檜橋 閲子

1. 概要

(1) 活動人数

部門	学級		学年
	年組	人数	
学校			その他 (環境・美化委員会)

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和元年4月	週に1回	久留米市立篠山小学校

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	本校は「久留米市学校版 ISO」に認定され、地球にやさしい学校づくりに取り組んでいる。その中で環境・美化委員会の児童の発案で始めた。
活動の目的	アルミ缶の回収活動を通して、資源の有効活用を図る
具体的な活動内容	毎週水曜日に全校に放送で呼びかける。毎週金曜日の朝や、月1回の委員会活動でアルミ缶をつぶしたり、数のチェックを行ったりしている。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

アルミ缶の回収数が年々増加しており、家庭の協力を得ている。資源のリサイクルにより、持続可能な社会づくりに繋がると考える。
--

(4) アピールしたいポイント

学校全体でこの取組みを行うことで、資源を有効活用し、生徒たちが持続可能な社会づくりを学ぶことができている。

(5) 他団体とのかわり

無し

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】地球温暖化対策

【受賞者名】株式会社 丸信 (代表者) 代表取締役社長 平木 洋二

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数
事業者	450名

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年1月	ほぼ毎日	本社事業所

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	2020年1月のSDGs宣言をきっかけに環境負荷を提言する資材等の提案を強化してきたが、単なる製品提案に留まらず、顧客が比較的容易に環境PRや環境意識向上ができる仕組みについて模索していた。
活動の目的	製品販売を通じて、顧客の環境意識の向上を図ることで、1人でも多くの人、1社でも多くの企業が環境について真剣に取り組むきっかけとなることが目的
具体的な活動内容	消費電力の削減、社有車のハイブリッド化100%計画、再生可能エネルギーへの切り替え、Jクレジットの購入。 独自の「CO2ゼロ印刷」マークの普及拡大を通じた環境意識の啓蒙。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

本社事業所でのカーボンゼロ達成は自社の取り組みだけにとどまらず、達成の成果を独自ロゴマークの付与という形で顧客とシェアすることで広く企業の環境意識の向上に寄与するものと考えている。

(4) アピールしたいポイント

本社事業所におけるカーボンゼロの取り組みのインパクトは、世界規模の脱炭素のスケールからすれば微々たるものだが、カーボンゼロ達成に伴う独自の環境マークを運用することで、脱炭素や環境配慮の活動を普及拡大させる可能性があると考えている。また、継続的な「かっぱの森 J-クレジット」の購入で、地元久留米市の森林保全に貢献するとともに、弊社の取り組み、久留米市の取り組みを広くPRしていく。こうした活動を通じて、1社でも多くの企業とともに地球温暖化対策に寄与できる取り組みを増やし、環境負荷の低減を図っていくことで、より住みやすいまちづくりにも貢献できるものと考えている。

(5) 他団体とのかわり

- ・「かっぱの森 J-クレジット」の購入→久留米市田主丸財産区、大久保勉前久留米市長
- ・再生可能エネルギーへの切り替え→九州電力
- ・「CO₂ゼロ印刷」マークの普及拡大→取引企業（顧客）

<参考画像>

＜環境マーク表示のご案内＞

MARU-SIN 株式会社 丸信

「CO₂ゼロ印刷」を 表示しませんか？

貴社商品で**脱炭素化**
がアピールできます。

世界共通の目標として各国で進められているカーボンゼロ(脱炭素化)は、企業が単独で取り組むには、設備投資や再生エネルギー契約が必要であったり、事業運営体制の見直しを余儀なくされるなど負担が高いのが現状です。そこで、実質CO₂排出量ゼロの印刷工場を運用している当社では、独自の「CO₂ゼロ印刷」マーク製品を確定し、お客様がパッケージやシール等を通じて環境への取り組みをアピールできる仕組みを作りました。



表示できる3つの項目

- 1 マークの表示**
丸信独自のCO₂ゼロ印刷マークを確定しました。マークは商品から選べます。
※マークの種類は別紙参照
- 2 文章の表示**
【印刷物の文章内】
このパッケージは、二酸化炭素の排出量が実質ゼロの、環境に優しい印刷工場で製造されています。
【パッケージ(PACKAGE)】以外にも製品タイプに合わせて「ラベル(LABEL)」「紙(PAPER)」等が表示できます。
- 3 エビデンスの提供**
CO₂ゼロ印刷の発表を示した当社専用ページの詳しい内容やリンク先をご活用できます。
<https://www.maru-sin.co.jp/sdgs/carbonzero/>

※表示する項目はお客様のご要望に応じて①②③のいずれの組み合わせも可能です。

- 表示するメリット
- ・商品購入者に環境に配慮した企業であることをPRできます。
 - ・従業員や取引先に対する環境意識の向上にお役立ていただけます。
 - ・地球温暖化防止、温室効果ガス排出削減、SDGs達成に貢献できます。

CO₂ゼロが表示できる理由はウラへ▶

CO₂ゼロが表示できる理由、それは…

再エネ活用・ハイブリッド化・CO₂排出権等で

実質 CO₂排出ゼロの 印刷工場を実現。

《丸信の主なCO₂ゼロ施策》

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・社有車のハイブリッド化
- ・一般ゴミのRPF(固形燃料)化
- ・印刷UVランプのLED化
- ・兼用木型の有効活用
- ・低環境負荷トレーの推奨
- ・かっぱの森J-クレジットの購入
- ・RE Action宣言への参加 etc.

【本事業場におけるCO ₂ 排出量】 (2020/1~12)		CO ₂ 換算
電力消費量	3,169,597 kWh	→ 0 t
ガソリン使用量	33,768 ㍓	→ 79 t
重油使用量	19,906 ㍓	→ 54 t
CO ₂ 排出量 計		133 t
J-クレジット購入		135 t
CO ₂ 排出量(実質)		0 t


※実質ゼロとなるのはJ-クレジット購入によるCO₂削減

※実質ゼロとなるのはJ-クレジット購入によるCO₂削減

URL: <https://www.maru-sin.co.jp/sdgs/carbonzero/>

《脱炭素化について》

「脱炭素化」とは、地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出を抑える活動です。190以上の国と地域が参加して2015年に採択された「パリ協定」では明確な温暖化対策の目標が定められ、実質、世界共通の目標として各国で取り組まれています。日本は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」をして、2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにするという目標を掲げています。貴社も丸信とともに、環境に優しい地球環境の実現に向けて一歩を取り組みましょう。



お問い合わせ先

株式会社 丸信
福岡県久留米市田主丸町7-30
TEL.0942-45-2766

お問い合わせ先

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】久留米市立 北野小学校 (代表者) 井手 義隆

1. 概要

(1) 活動人数

部門	学年
学校	5年生

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成19年5月	年に1回	北野小学校(多目的ホール・すくすくエコハウス)

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	平成19年3月北野小学校グラウンド東側に、北野小学校PTAが環境教育を目的に生ごみをリサイクルするハウス「すくすくエコハウス」を設置し、久留米東商工会女性部の協力により装置も貸与され、これを機に北野町生ごみリサイクル会と共に毎年環境教育に取り組むことになった。 (コロナ期間中は、休止)
活動の目的	生ごみのリサイクルを通して、地球環境の保全地球温暖化の現状と対策や、土づくりを基とした健全な食づくりについて学び、将来の健全な青少年の育成に繋げたい。
具体的な活動内容	② 環境学習 1日 ②生ごみリサイクル体験 3週間(処理1日・管理3週間)

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

この学習を通じて①CO2の発生抑制や効果的な土づくりを学び、環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげる。②生ごみリサイクル会やまちづくり振興会の人々との関わりを通じ、多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。③④現在多くの生ごみが焼却処理される中、この取り組みを学び将来の地域に広めていくことで、地域の持続的な発展に向けて工夫や独創性を考えることで、子どもたちや地域への波及効果や啓発・教育の効果がある。

(4) アピールしたいポイント

北野小学校 PTA の子供たちの環境教育に際し、グラウンドに生ごみを堆肥にしていく施設として「すくすくエコハウス」を設置し、久留米東商工会女性部の協力により装置も貸与され、地域の北野町なまごみリサイクル会と共に毎年環境教育に取り組みは、全国的に見ても数少ない取り組みであることは特筆すべきである。また、子どもたちもこの取り組みを通じて、地球環境・温暖化の現状やそれに対する取り組みを学び、実際に環境を守る活動を体験することで、将来の健全な環境と食を守る人材の育成に繋がっていることを信じている。

(5) 他団体とのかかわり

・久留米市環境部・生ごみリサイクル会・北野町まちづくり協議会・中村生産組合

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】社会福祉法人暁心会 三潞保育園 (代表者) 理事長 國友恵海

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
団体	60	30

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年4月	月に1回	主に三潞町 (企画によって、他校区や福岡市の海岸など)

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	令和2年度のこどもエコスタート実施。
活動の目的	シンク in グローバル、アクト in ローカルの理念のもと、身近なエリアの環境に対してアクションを行い続けることで、子どもたちの意識や行動変容を生み、家庭を通じて社会に伝播していくことを目的としている
具体的な活動内容	【活動①】年中児の環境教育 (環境活動) ・くるめクリーンパートナーとして地域の美化活動 (月に1回以上) ・お店屋さんごっこにアップサイクルの視点を取り入れたマルシェの開催 (1回) 【活動②】年兆時の環境教育 (環境活動) ・水をテーマとした環境活動と実践 (年6回) 【活動③】活動の情報共有 ・園だよりにて、各家庭に実施した成果などを共有

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

【活動①】月に一度の清掃活動を実施。回を重ねるにつれ意識が高くなり、清掃活動以外で、散歩などに出かけた際にごみを拾う等意識が向くようになった。また、ごみの分別についても高い意識が身についた。
【活動②】水の循環について学ぶ中で、身近な水路・筑後川・海の繋がりを理解でき、地域のごみが海のマイクロプラスチックごみになることを理解した。また、解決するためには一人ひとりの行動が大切であることも理解することができ、各家庭においてもそのような話をする事で、大人への影響も生まれた。
【活動③】園児たちの学びや行動の変化を保育者の視点から紹介することで、各家庭への伝播の手助けとなった。

(4) アピールしたいポイント

- ・未就学児を対象とした環境教育である点
- ・大人が教えるのではなく、実践を通じた気づきの中から学習効果を生む活動である点
- ・散歩先や園庭での遊びの中で、小さなごみやポイ捨てごみに気づいたり、水が命を育んでいることを意識した行動を取ることができるようになるなど、着実に行動変容が現れている点
- ・効果が園児だけではなく、各家庭に伝播し始めている点
- ・多様な主体との協働により学習を推進している点

(5) 他団体とのかかわり

行政：市環境政策課

企業：(独)水資源機構(筑後川大堰管理事務所)

公益活動団体：NPO法人筑後川流域連携倶楽部(くるめウス事業部)、パルキッズくるめ、筑後を守るドローン隊、(一社)ふくおかFUN

